

戦国ロマンのかげら煌めく

速野学区まるごと活性化プロジェクトで発掘
 明智光秀の重臣・五宿老、藤田伝五の子孫が

日々の暮らしから発掘された戦国歴史ロマン。水保町在住の藤田泰夫さんのご先祖が、明智光秀五宿老の一人、藤田伝五行政ではないかと地元の話題になりました。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送で注目され、地域おこしへのロマンにまで広がっています。

我が家の先祖を知りたい
 偶然から発見された伝五

藤田泰夫さんは、菩提寺の観音寺（水保町）にあるお墓を両親



藤田 伝五の子孫とされる藤田 泰夫さん

から受け継いで大切に守ってきました。しかし受け継いだお墓が35基もあったので、除草やお供えなど守るのはとても大変でした。ふと、苦勞して守っていた

お墓の先祖を確認してみようと思いつき、平成28年に観音寺の藤田啓人住職に、藤田家の過去帳を作ってもらい依頼しました。

藤原さんは依頼を受けて、改めて寺の古文書や永代供養をしている位牌の戒名などを調べ始めました。何百年も遡らなければならぬ仕事なので、資料として藤田さんの家に伝わっていた家系図も調べてもらうことになりました。

そうして、お寺の古文書や藤田家の家系図を読み解く中で、明智光秀五宿老の一人、藤田伝五の名が発見されたのです。

系図に五宿老・藤田伝五 大河ドラマで2度びっくり

観音寺は明智光秀にゆかりの深い西教寺（大津市の末寺です。お寺の古文書や家系図にその名を見つけた藤原住職と藤田さんは、驚くと同時に「明智光秀家臣団伝承ここにあり」と先人の功績に思いを馳せ、同時に郷土にこのような偉人がいたことを地域の歴史的資産として広く知ってほしいと思いました。

そこで、平成30年に観音寺に「明智光秀五宿老 藤田 伝五顕彰実行委員会」が発足しました。

そうしているうち、なんと明智光秀が主人公の、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が

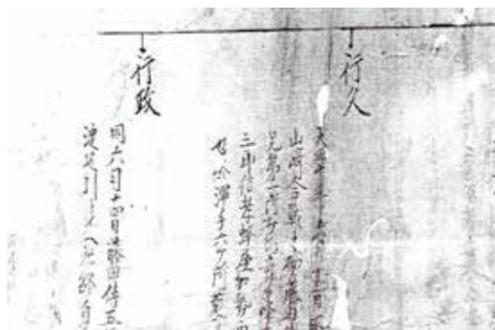


藤田 泰夫さんと藤原 啓人住職（右）

決まりました。藤田伝五がドラマに登場するかどうかも分かっていない時でしたが、藤田さんと藤原さんの心は高鳴りました。実際に放送がはじまって2度びっくり。藤田伝五は明智光秀の重臣として、初回から活躍する重要な登場人物として描かれていました。

我が家の歴史と伝承が 地域の宝ものになった

速野学区まるごと活性化プロジェクトの中に「ふるさと文化を見なおし守ろうプロジェクト（Eプロジェクト）」があります。地域の歴史や語り部の発掘・学びの場づくりなどに取り組むプロジェクトです。



藤田 泰夫さんの家に伝わる家系図（一部）

地域で偶然発見された藤田さんの家に伝わる伝承は、プロジェクトの狙いにぴったりでした。

Eプロジェクトは、藤田伝五の子孫が守山にすることを多くの人に知ってもらおうと、毎年開いていた「ふるさと紹介のつどい」で、県文化財保護課の井上優さんに明智光秀と五宿老・藤田伝五について講演してもらうことにしました。

大河ドラマの人気もあって、井上さんの明智光秀と家臣団に関する研究成果と、藤田伝五の子孫かもしれない藤田さんはマスコミにも取り上げられ、速野会館で行われた講演会には聴講者が詰めかけ、立ち見が出るほどの大盛況ぶりでした。



観音寺に伝わる涅槃図（市文化財）と裏書（左）



井上 優さん
 滋賀県文化財保護課 主幹

明智光秀というと、本能寺の変で主君織田信長を討った反逆者という人物像が一般的です。しかし、私の父方のルーツ・坂本（大津市）では名君といわれていました。そのギャップが、若いころから明智光秀を研究するきっかけでした。

明智光秀は美濃のあたりで生まれたといわれていますが、私は近江出身ではないかという異説に興味を抱いて研究しています。異説に惹かれる理由の一つに、滋賀県に明智光秀と家臣団の伝承が多いことがあげられます。

古文書や歴史の研究から発見される伝承が多い中、地元守山の人が発見して情報をくれた藤田伝五の伝承も大きな研究成果となりました。

藤田家に伝わる家系図、観音寺に伝わる古文書や絹本着色仏涅槃図※（市文化財）などの寺宝から、藤田家の先祖が有力な武家で大檀家であったことが分かります。

ただ藤田家の家系図（18世紀成立と推定）を検証すると、藤田伝五は水保町の藤田家直系ではなく、新しい同族であると考えられます。謀反人の家臣として、光秀とともに滅びた伝五系の藤田家を弔うため、系譜に加え先祖の一員として供養したのではないかと考えられます。守山の藤田家系譜には、藤田伝五の兄弟で、同じく光秀に最後まで従った藤田伝三行久も迎えられています。

智勇を備えた戦国武将といわれながら、謀反人・敗者として歴史に刻まれた明智光秀と家臣団の伝説や伝承に、大河ドラマなどで光が当てられ、改めて歴史や戦国ロマンの愛好家に注目されたり、地元の宝物として語り伝えていこうとする気運が訪れたことを心から歓迎しています。

※裏書に「施主 藤田 彦左衛門尉貞勝」の記（写真中央参照）

先祖の軌跡をたどる 新たなライフスタイルに

地域で発掘され、Eプロジェクトで学区に伝えられた戦国ロマンの物語はさらに広がって、7月には市が主催する歴史入門講座のテーマにもなりました。

戦国ロマンにも歴史にも興味は薄かった藤田さんは、藤田伝五の伝承が発掘されても最初

はピンときていなかったとい



速野会館で開催された「ふるさと紹介のつどい」（2月8日）

ます。しかし、観音寺の檀家さんたちが顕彰実行委員会を発足した話となっていくうちに、代々受け継がれてきた我が家の歴史に誇りと興味を持つようになったといえます。

今では、多くの歴史書などから明智光秀と藤田伝五にまつわる記述を抽出して、二人の軌跡をたどる年表を作ること

をライフスタイルにしているそうです。



埋蔵文化財センターで開催された「歴史入門講座」（7月18日）